

## 輸送安全マネジメントに関する取り組みについて

平和交通株式会社においては、輸送の安全を確保するために、安全運転と安全案内を以下の通り全社員が一体となって取り組んでまいります。

### 2022年度の取り組みについて

#### 1. 輸送の安全運転・安全案内に関する基本的な方針

バス事業の根幹である「安全運転と安全案内」(事故防止・社会規範の遵守)に取り組めます。

##### 【実施項目】

- (1) 事業活動においては、法令を順守した運行を通じ、地域の交通安全の中心的役割を担います。
- (2) お客様に「安心で快適なサービスの提供」をするための教育、研修、訓練等を適時適切に実施します。
- (3) 事故、災害が発生した場合には、お客様の救護を最優先に行い、関係機関と連絡を密にし、被害の拡散防止、早期復旧を図ります。

##### 【社長方針】

天候、道路、交通、車両状況の的確な把握に努め、運行時の「予測運転」＝「かもしれない」運動に取り組めます。

#### 2. 輸送の安全に関する目標及び、目標の達成状況

##### ●2021年度達成状況

目標項目	目標	実績	達成状況
有責事故発生件数	30%削減	24.2%削減	未達成
横断歩道、交差点付近の人身事故	0件	0件	達成
駅ロータリー内での一般車接触事故	0件	1件	未達成
車内事故	0件	3件	未達成
法令順守(違反件数)	0件	0件	達成

##### ●2022年度安全目標

##### 1. 車外事故に関する目標

- ・ 予測運転を励行し、有責の交通事故件数を前年度の3割削減します。
- ・ 思いやりと譲り合いによる運転で、歩行者、自転車との事故をゼロにします。
- ・ 適切な走行位置を維持し、接触事故をゼロにします。

##### 2. 車内事故に関する目標

- ・ 肉声による安全案内により、出発時の乗客着席確認、走行中および停車時の座席移動防止を呼びかけ、車内事故をゼロにします。

##### 3. 法令遵守に関する目標

- ・ 回送時の運行も含め法令を遵守し、交通違反件数をゼロにします。

### 3. 事故に関する統計

2021年度に自動車事故報告規則により報告した事故件数 1件

件名	件数
人身事故	1件
接触事故	0件
物損事故	0件
車両故障	0件

### 4. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

#### ●輸送の安全に関する重点施策

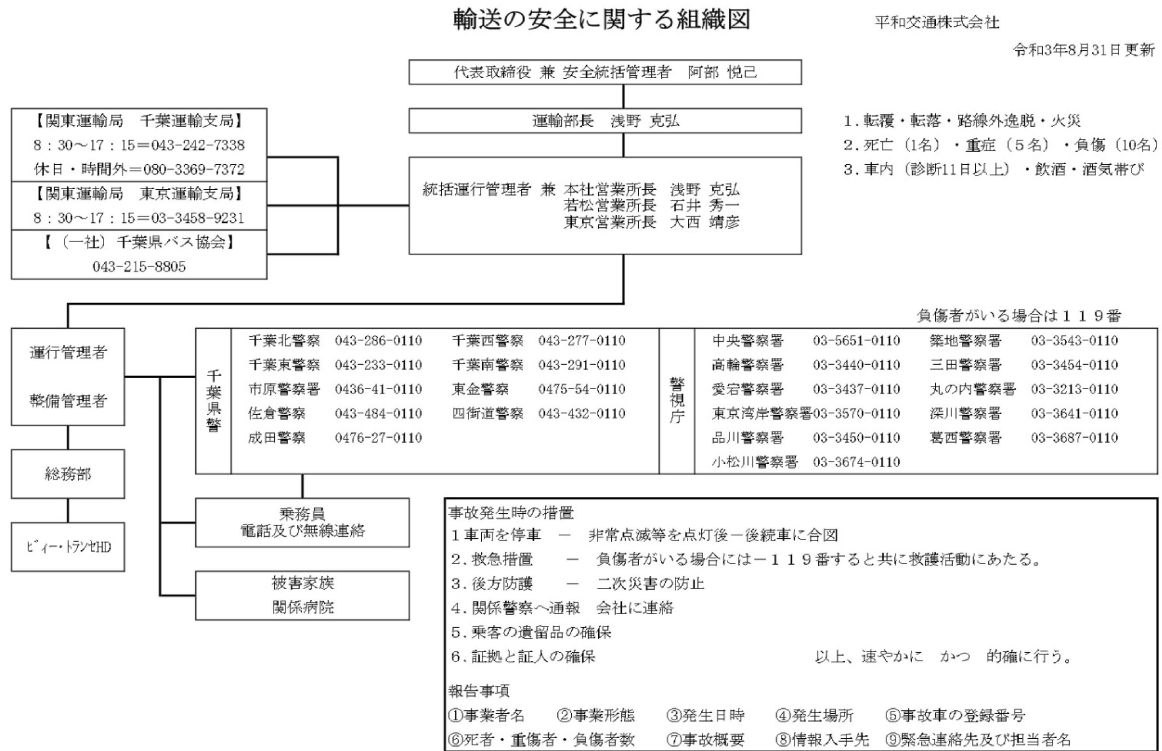
安全統括管理者を委員長として構成される事故防止対策委員会を開催し、「安全運転と安全案内」実施に向けて重点目標を基に安全会議を開催し、各路線及び業務において周知徹底を図るべく乗務員講習会・個人面談指導を行い輸送の安全を図ります。

- (1) 代表取締役・安全統括管理者・統括運行管理者による早朝立会の実施
- (2) 歩行者保護を目的とし、横断歩道での一時停止運動を実行する。
- (3) 車内事故防止のため、乗客の着席を確認してから発進することを徹底する。
- (4) 乗務員に対する適正診断の実施
- (5) SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査の実施
- (6) 運輸安全マネジメントの実施状況点検のため、年に一度グループ内部監査を実施。

### 5. 内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

実施日時	2022年3月14日
被監査部門	経営トップ、安全統括管理者、運輸部門責任者
指摘事項	特段指摘事項は無く、乗務員教育を毎日実施していることについてお褒めをいただいた。 今後の課題点…災害時に停電した際、電気バスの電力供給に優先順位を付け、何を先に復旧させるかを精査・共有すること。またハザードマップを活用して各路線における避難場所の確認など、すり合わせを定期的実施しておくこと。
総括	運行管理者を筆頭に災害時の対応マニュアルを見直し、都度アップデートしていく。 また今年度も防災訓練を実施していきたい。 電力供給の優先順位、水の供給方法(井戸水の浄水機能)などを確立させ、いざという時の備えを万全にしていく。

## 6. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統



## 7. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況、及びその他取り組みの実施状況

- (1) 乗務員年間教育計画を作成し、計画に基づいた教育・指導を実施
- (2) 乗務員講習会の実施
- (3) 運行管理者・整備管理者に対する管理者講習の実施
- (4) 社員コミュニケーションミーティングの実施
- (5) 乗務員の登用研修(新規登用・路線別研修)
- (6) 添乗指導教育
- (7) 運転業務再教育
- (8) ヒヤリ・ハットや事故の情報を収集の上、乗務員教育に活用する
- (9) 燃費向上への取り組み

急加速・急減速を防止し安定した運転を図り、併せてアイドリングストップを実践することで、燃費の向上を目指します。

- (10) 環境保全への取り組み

アイドリングストップの実践により環境保全に貢献していきます。

## 8. 安全管理規程

ホームページ内に掲載

## 9. 安全統括管理者

阿部 悦己

(代表取締役 兼 安全統括管理者)

以上